

2012年度 森林統計学 第1回

担当: 森林科学コース
鈴木保志

はじめに

- 統計学は役に立つ
 - 卒論、特にフィールドのデータ分析では必須

研究での例)

森口ら(2004) 林道端に集積されたスギ残材の含水率の経年変化.

鈴木ら(2005) H型架線の支点設置可否と崩壊危険度および関連地形因子との関係.

はじめに

- 統計学は役に立つ
 - 卒論、特にフィールドのデータ分析では必須
- 勉学・学問は本来おもしろい・楽しいもの
 - ただし努力は必要
 - 買い物とは違う
 - 買い物は同じものを買うなら安い(努力しない)方が得
 - 勉強はスポーツの練習と同じで、実質がないと意味がない
- 授業時間を有効に使うために予習・復習を
 - 教科書を隅々まで使う

講義の進め方・注意事項

- 講義予定(配布資料)
- 教科書
- 予習と復習
- 課題評価
- 試験
- オフィスアワー

教科書



- 全14章
- 1～8章、12章の一部
 - 「森林統計学」
 - 3章 “確率”は高校数学
- 9～13章
 - 「森林応用統計学」
 - 隔年集中(来年度開講)

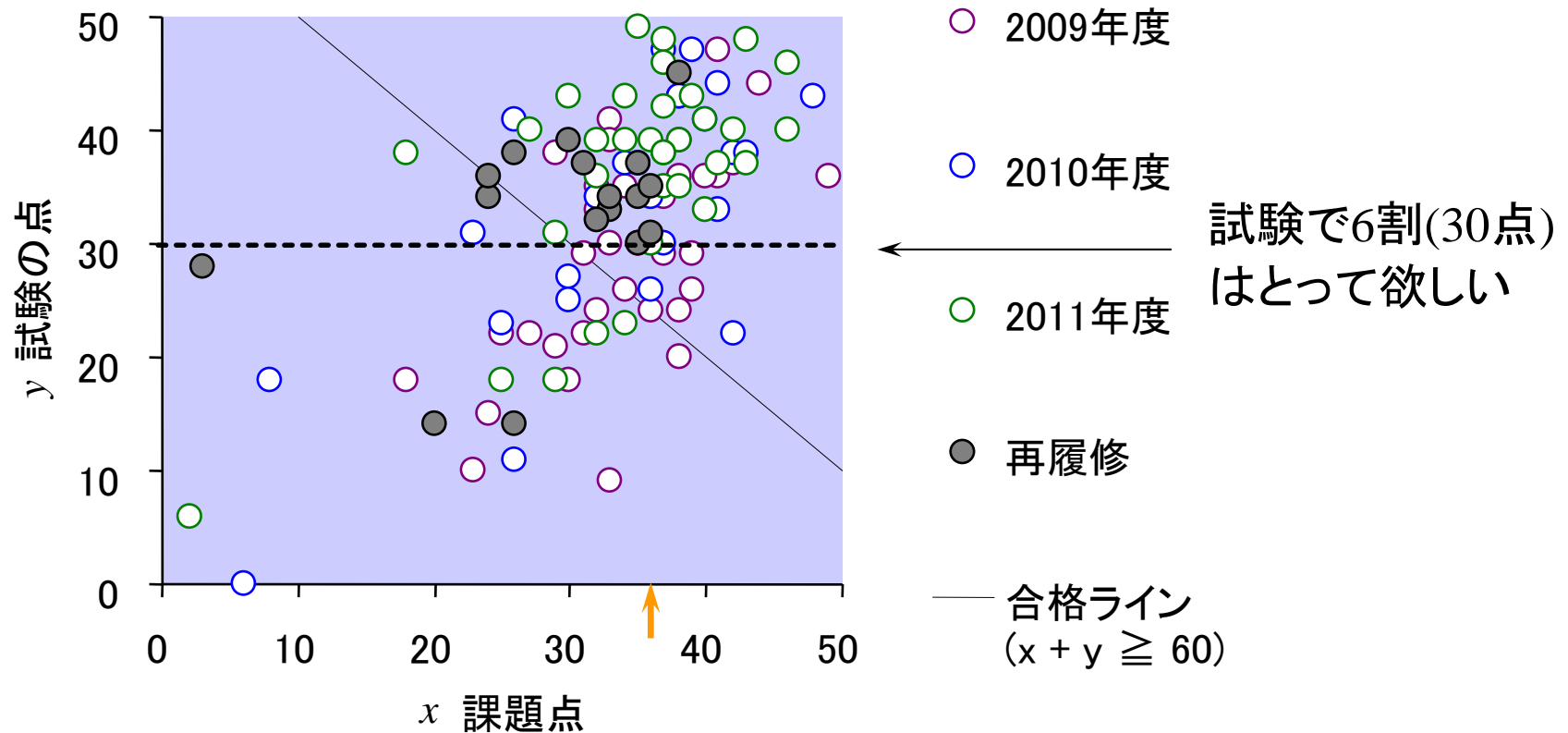
成績の評価

- 課題50点、試験50点
 - － 出席点は考慮しない
 - 出席は当たり前; 単に講義に出ることが目的ではない
 - 本当に自分のためになることは何かを考えよう
 - 出席状況は把握している
- 課題 (10点 × 5課題)
 - － 課題資料はWeb資料として載せる
 - Web資料のURL (<http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~ysuzuki/kougi.htm#STATISTICS>)
 - ※ シラバスに明記; 「鈴木保志」で検索して出てくる鈴木のWebページからもたどることができる(お知らせ→講義関係)
 - － 課題は基本的に翌週に提出
 - 出揃ったらコメントを付して提出の翌週に返却する

成績の評価

- 再履修者の課題点
 - － 旧年度の課題点は1年分は残している
 - 再履修者: 前年の課題点は有効,今年提出分は追加点として評価する
 - 再々履修者: 旧年の課題点は無効,すべてやり直しが必要
 - － 課題の回数とおおまかな内容は前年と変わらないが、詳細は毎年改訂している。再提出する時には今年の課題の指示を参照すること。

過去年度の成績



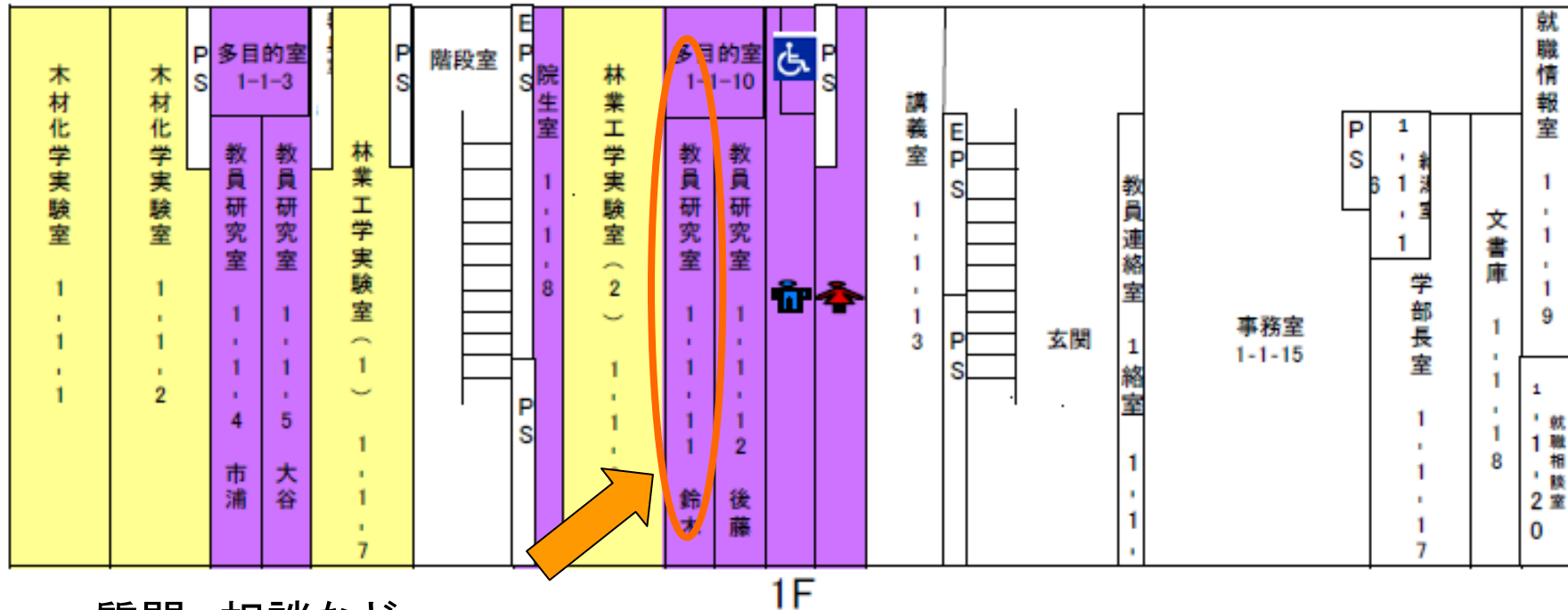
- 過去年度実績から
 - 課題点35点程度以上 でおおむね試験も30点程度以上 できている
- 課題点と試験はほぼ比例している
 - まずは課題をしっかりとやることが重要

勉強の心構え

- 予習と復習を
 - － 予習: 教科書の下読み、例題
 - － 復習は教科書の練習問題と課題で
 - 例年、練習問題をこなした人は成績もよい
- 課題は「なぜ」を常に意識して
 - － 資料作成の「作業」ではない
 - － なぜ、を理解するための「勉強」が目的
 - － わからなければ質問を
 - わからないまま提出せず、提出前に質問しよう

オフィスアワーを利用して質問を

1号棟1階



- 質問、相談など
 - 旧年度実績でもオフィスアワーを利用した者の理解度は高かった
- 火曜日の昼休み(12:00-13:00), 5限相当時間の前半(16:30-17:15)
- 指定時間以外はメールなどで事前に問い合わせてもらえると確実
 - ysuzuki@kochi-u.ac.jp